

平成26年度 第2回愛南町入札監視委員会

開催日時 平成27年1月16日（金） 14:00～15:00

開催場所 愛南町役場3階第3会議室

出席委員氏名 大賀 水田生（愛媛大学大学院教授）
尾崎 亘宏（元愛媛県建築住宅課技幹）
増田 裕（税理士）
松本 宏（弁護士）

議事等 議題1 愛南町入札契約状況について
議題2 抽出事業（3件）の審議について
① 旧西浦小学校教員住宅解体工事
② 御荘霊苑納骨堂新築工事
③ H26御荘漁港港整備交付金工事
議題3 その他

平成26年度 第2回愛南町入札監視委員会

意見・質問	回 答												
議題1 愛南町入札契約状況について													
<p>平成26年度(12月末時点)契約状況報告</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">一般競争入札</td> <td style="padding: 5px;">92件</td> <td style="padding: 5px;">1,693,772千円 (落札率90.6%)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">指名競争入札</td> <td style="padding: 5px;">10件</td> <td style="padding: 5px;">82,534千円 (落札率89.1%)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">随意契約</td> <td style="padding: 5px;">240件</td> <td style="padding: 5px;">151,582千円 (落札率94.8%)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">合計</td> <td style="padding: 5px;">342件</td> <td style="padding: 5px;">1,927,888千円 (落札率90.9%)</td> </tr> </table> <p>平成26年度12月末時点での工事契約額は約19億3千万円であり、前年度同月比で約1億3千万円の減となっている。H26年度12月末時点での主な発注工事として、消防庁舎建築主体工事約5億円及びこれに伴う設備工事(電気・機械)約1億6千万円、また、城辺社会福祉会館等解体工事約7千600万円などがあげられる。</p> <p>なお、H26年度12月末時点の発注件数は342件(前年度同月比69件の増)落札率は、90.9%(前年度同月比1.1ポイントの減)となっている。</p>		一般競争入札	92件	1,693,772千円 (落札率90.6%)	指名競争入札	10件	82,534千円 (落札率89.1%)	随意契約	240件	151,582千円 (落札率94.8%)	合計	342件	1,927,888千円 (落札率90.9%)
一般競争入札	92件	1,693,772千円 (落札率90.6%)											
指名競争入札	10件	82,534千円 (落札率89.1%)											
随意契約	240件	151,582千円 (落札率94.8%)											
合計	342件	1,927,888千円 (落札率90.9%)											
議題2 抽出事業(3件)の審議について													
<p>平成26年7月から平成26年11月末までに発注した工事が対象</p> <p>①設計金額及び予定価格と落札額に大きな差がある工事 ②一般競争入札にもかかわらず、応札が1社であった工事 ③総合評価落札方式を採用し、金額順位2位の者が落札者となった工事</p>													
①旧西浦小学校教員住宅解体工事													
<p>設計金額少額(130万円未満)のため、地方自治法施行令第167条の2第1項第1号の規定により随意契約にて執行した工事である</p>													
<p>Q. 解体工事についてはこれまでも落札率が低い傾向にある。設計額は適正だったか?</p>	<p>A. 適正である。仮設工事である「足場」及び「養生」は、コスト情報誌から、解体工事については、コスト情報誌及び見積りにより積算した。</p>												
<p>Q. 見積業者の選定理由は?</p>	<p>A. 過去に建築物解体工事の施工実績がある者とした。</p>												
<p>Q. 落札率が低かったことに対し考えられる理由は?</p>	<p>A. 競争原理が働いたこと。また、採用された者は、自社に中間処理施設を所有していることから他社より安価で応札したものと推測する。</p>												
<p>Q. 中間処理施設を自社所有する業者は、採用された1社のみか? そうであれば特命随契ではないのか?</p>	<p>A. 中間処理施設を自社所有する業者は、採用された業者のみである。なお、随意契約でも競争性を確保するため、複数社から見積書を徴することとしている。</p>												

②御荘霊苑納骨堂新築工事

建物新築工事であることから許可業種は「建築工事業」とした。町内に参加可能な業者が22者確認できたことから、競争性は十分確保されていると判断し、地域要件は町内に本店を有する者としたが、応札者が1者もなく入札中止としたものである。なお、地域要件を県内まで拡大し、再度公告した結果、町内業者1者からの参加があり、落札者となった。

Q. 当初公告の際、応札が1者もなかったことに対し、考えられる理由は？

A. 近隣市町における建物耐震工事等で型枠工及び鉄筋工の作業員が不足しているという情報は得ていた。また、町内でも民間のリフォーム工事が多数発注されており、作業員不足が応札がなかった要因の一つと推測する。

③H26御荘漁港港整備交付金工事

総合評価落札方式（実績確認型）を採用した工事である。入札参加条件として、許可業種及び施工実績は土木工事業、本店又は営業所等の所在は町内（本店）、格付けは金額が5,000万円以上であることからAランクを対象とした。

Q. 逆転現象の要因となった主な評価項目は？

A. 工事成績評定点と災害協定に基づく活動実績である。

Q. 工事成績評定点の配点は何点あったのか？

A. 20点を配点していた。

Q. 愛南町における土木工事業の工事成績評定平均点は？

A. 73点である。

Q. 地域貢献度の実績とは具体的にはどのようなものか？

A. 町との災害協定に基づく各種活動や道路・河川の清掃ボランティア（愛ロード・愛ビーチ）などである。

Q. 今回のような逆転現象は過去にもあったのか？

A. ありました。

議題3 その他

特になし